

### スポーツ軸に地域担う人材を

#### 八学大学長4月就任 水野氏が会見で抱負

短大部は杉山学長に

八戸学院大学（八戸市）の学長に4月1日付で就任する水野眞佐夫・北海道大学大学院教授（64）が1日、八学大で記者会見し、「ス



水野眞佐夫  
八戸学院大次期学長



杉山 幸子  
短大部次期学長

スポーツを八学大の強みの一つとして地域を担う人材を育成したい」と抱負を語った。会見では、同大短期大学部学長に4月1日付で杉山幸子・同短大部副学長（56）が就任することも発表された。

#### 【水野氏の「この人7面」

健康・スポーツ  
科学が専門の水野教授は、大学と短大が目指すビジョンとして「健康」「医療福祉」「地域未来」「国際」のキ

ーワードを提示。「スポーツを学び、地域の未来に進むべき力を身に付けてもらう。加えて異文化を理解し、世界と共生する志を持ってもらう」と抱負を語った。

発達心理学が専門の杉山副学長は、同短大部が今春から幼児保育と介護福祉の2学科体制となることに触れ、「短大の2年間で学生が資格を取り、地域に出るには実習が大切。従来以上に地域とのつながりを重視したい」と意向を示した。

水野教授は北九州市出身。玉川大卒業後、デンマーク・コペンハーゲン大学医学部講師や同国公立病院研究部長を務め2006年から現職。杉山副学長は茨城県八千代町出身。東北大学大学院卒業後、同大助手などを経て18年から現職。両氏の学長就任に伴い、同大と同短大を18年4月から兼任している法官新一・学校法人光星学院理事長は、任期中で両学長を退任する。  
（若松清巳）